

実証運行等の結果について

1. 新方地区乗合タクシー実証運行の結果について 1
2. 新方地区乗合タクシー実証運行等に関するアンケート調査の結果について 5
3. 新方地区内公共交通導入検討協議会の結果について . . . 18
4. まとめ . . . 19

1. 新方地区乗合タクシー実証運行について

事業概要

運行期間：令和3年6月1日から令和3年11月30日まで（6ヶ月間）

運行形態：利用者の「自宅」と「指定の乗降施設（66施設）」間の往来
※9月1日より8施設追加（58施設から66施設）

運行車両：タクシー車両1台

運行時間：平日の9時00分から18時00分まで
1日当たり最大16便（30分ごとに1便）
1便当り乗車定員4人以下

運賃：1人1乗車 地区内300円、地区外500円
未就学児は無料

利用方法：事前に利用者登録が必要（無料）

予約方法：利用日の1週間前から前日までに電話予約（平日9時00分から16時00分まで）
※当日も空き状況に応じて予約可

利用者登録

○対象世帯数1,505世帯に対し、実証運行終了時点で722世帯、全体の**48.0%**の登録がありました。

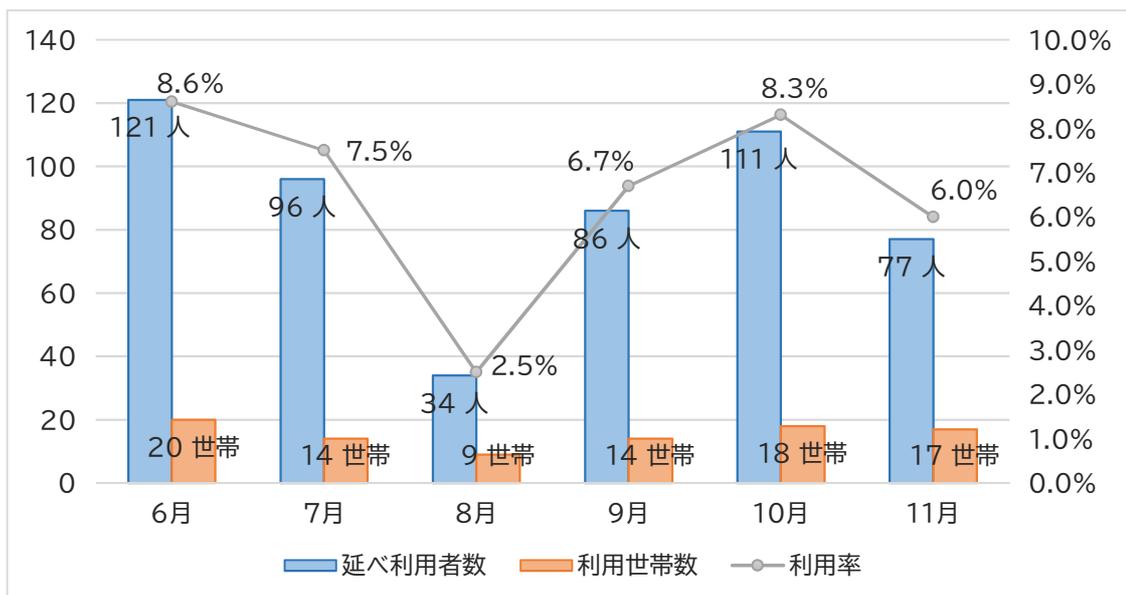
運行結果

（1）月別利用状況

○運行期間中の124日間で、**利用世帯数は44世帯**、延べ利用者数は525人でした。

○**日当たりの平均利用者数は4.2人**でした。

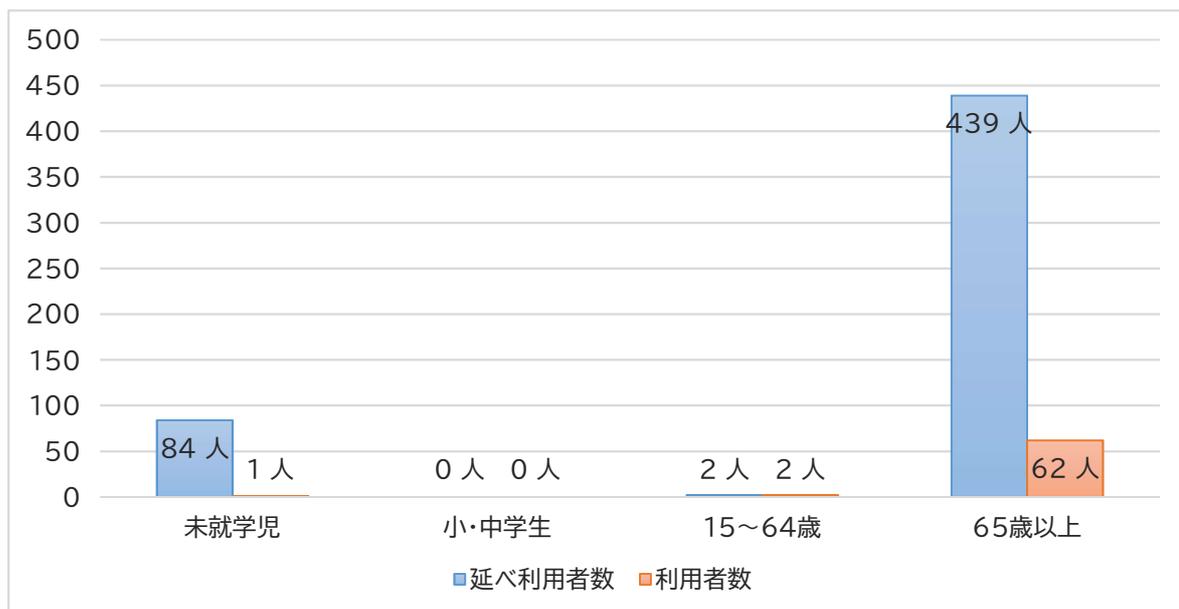
○運行期間中の利用率は**6.6%**でした。



月別利用率 (%) = 月別延べ利用者数 (人) / (64 (人/日) × 運行日数 (日)) × 100

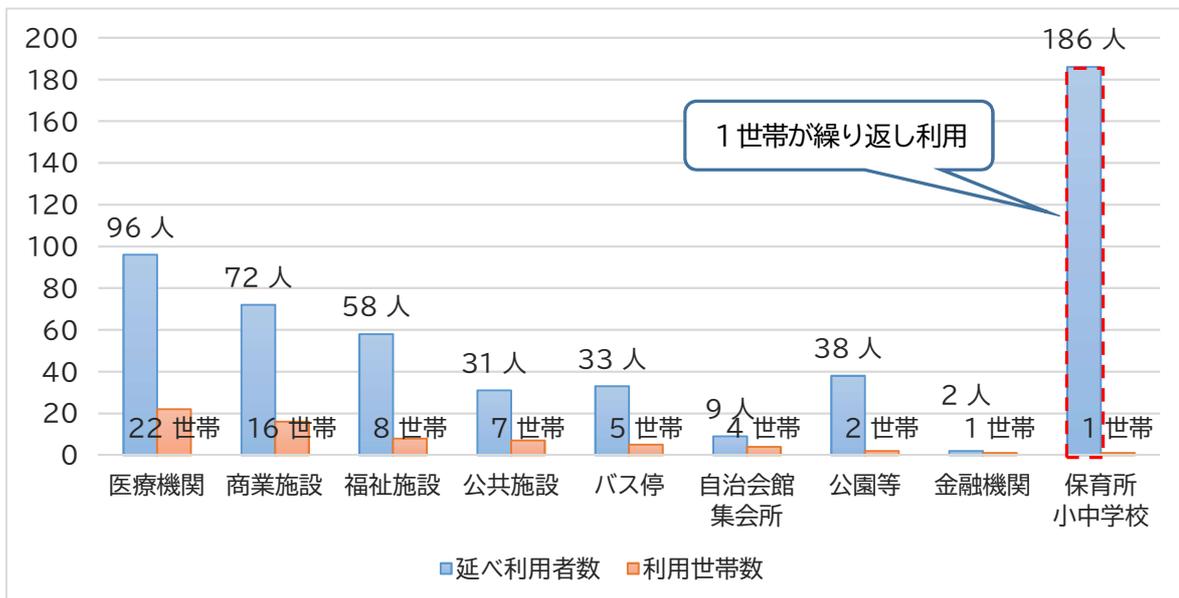
(2) 年代別利用状況

○利用者数は、「65歳以上」が62人で約95%でした。



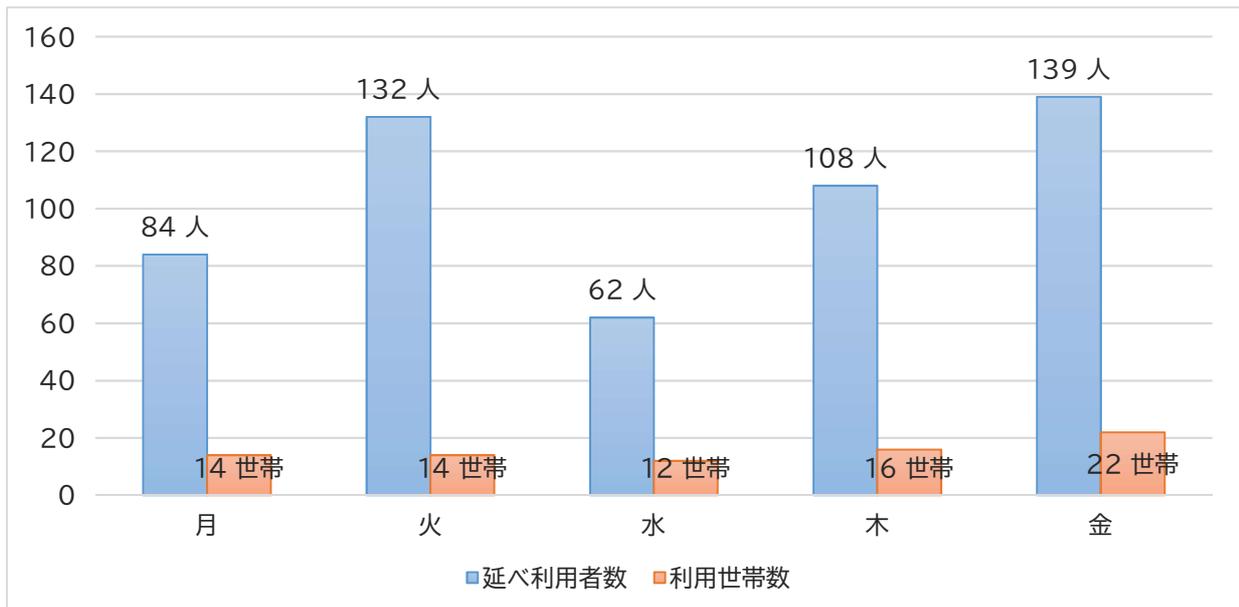
(3) 施設種別利用状況

○「医療機関」の利用が最も多く、次いで、「商業施設」、「福祉施設」、「公共施設」の順で利用が多い結果でした。



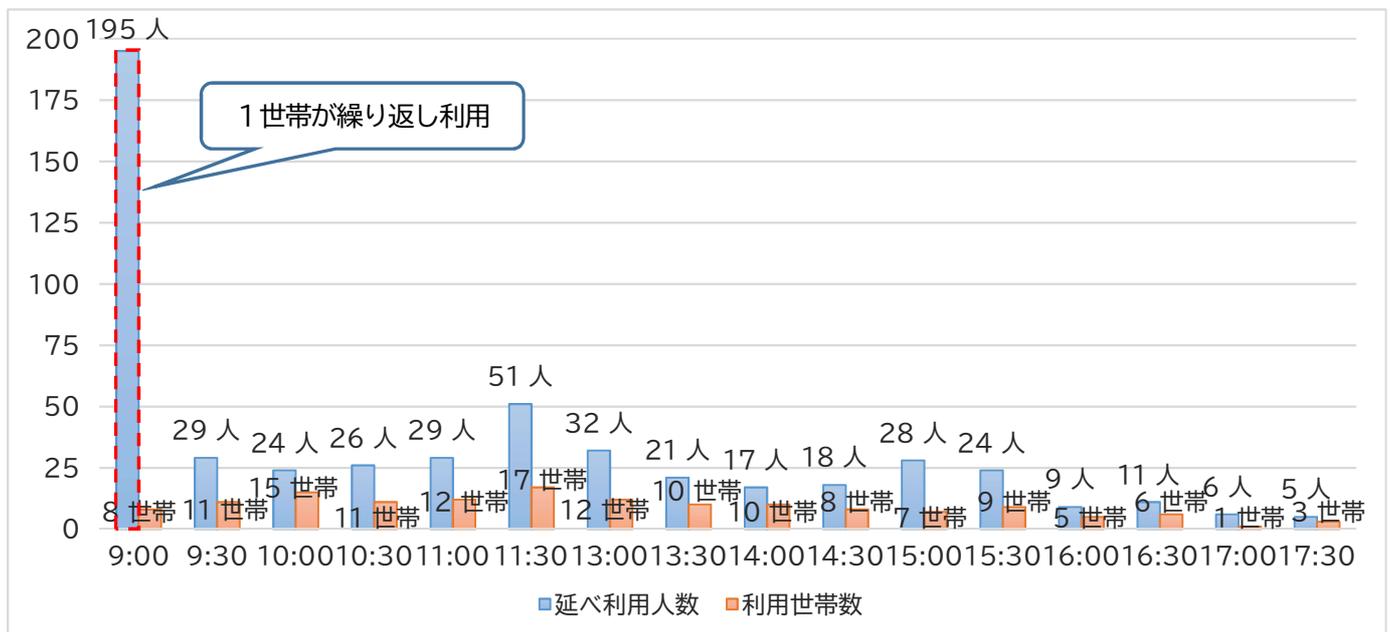
(4) 曜日別利用状況

○「金曜日」の利用が最も多く、「水曜日」の利用が最も少ない結果でした。



(5) 時間別利用状況

○午前中からお昼前後にかけて利用が多く、16時以降の利用が少ない結果でした。



(6) 収支状況

○収支率は、全体の事業費からみて1.5%という結果でした。

収 支 率

乗合タクシー事業費				9,739,500
	運行日数(日)	月別運行経費(円)	運賃収入(円)	収支率(%)
6月	22	1,379,400	32,900	2.4%
7月	20	1,254,960	26,800	2.1%
8月	21	1,317,180	10,800	0.8%
9月	20	1,466,160	25,500	1.7%
10月	21	1,538,940	30,900	2.0%
11月	20	1,466,160	22,000	1.5%
業務管理費		1,316,700		
合計	124	9,739,500	148,900	1.5%

2. 新方地区乗合タクシー実証運行等に関するアンケート調査結果について

調査の実施概要

(1) 調査の目的

新方地区への新たな公共交通の導入に向けて、改善点や感想、また今後の本地区に適した新たな公共交通を検討していくための基礎資料とする。

(2) 調査対象・実施方法等

調査対象者	新方地区の9自治会(1,505世帯)
調査方法	各自治会内で全戸にアンケートを配布し、各自治会にて回収又は、新方地区センターアンケート回収ボックスにて回収
調査項目	① 回答者の世帯について(所属する自治会、世帯人数、自家用車の有無) ② 乗合タクシーについて(利用の有無、利用目的、良かった点、不満点等) ③ ミバス(コミュニティバス)について(利用の有無、利用目的、良かった点、不満点等) ④ 新たな公共交通の導入について(ミバスと乗合タクシーの比較等)
調査時期	令和3年(2021年)10月1日(金)～令和3(2021年)年10月20日(水) ※実証運行期間:令和3年(2021年)6月1日(火)～令和3年(2021年)11月30日(火)

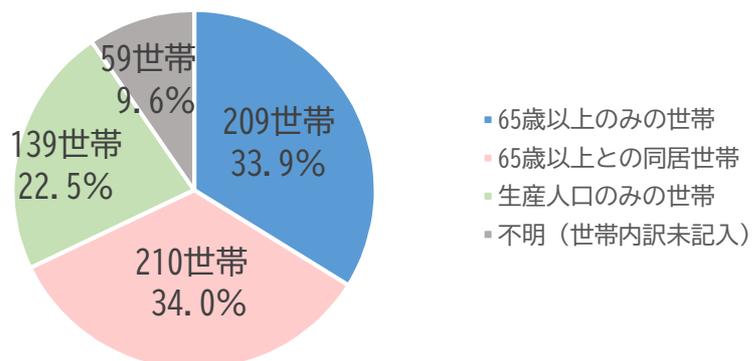
(3) 対象世帯数・回収結果

自治会名	対象世帯数	回答数(世帯)	回収率(%)
合計	1,505	617	40.1

調査結果

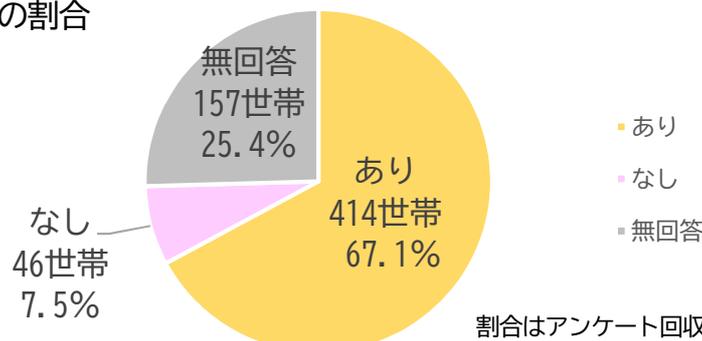
① 回答者の世帯について

(1) 構成世帯の割合



割合はアンケート回収数617世帯から算出

(2) 自家用車所有の割合



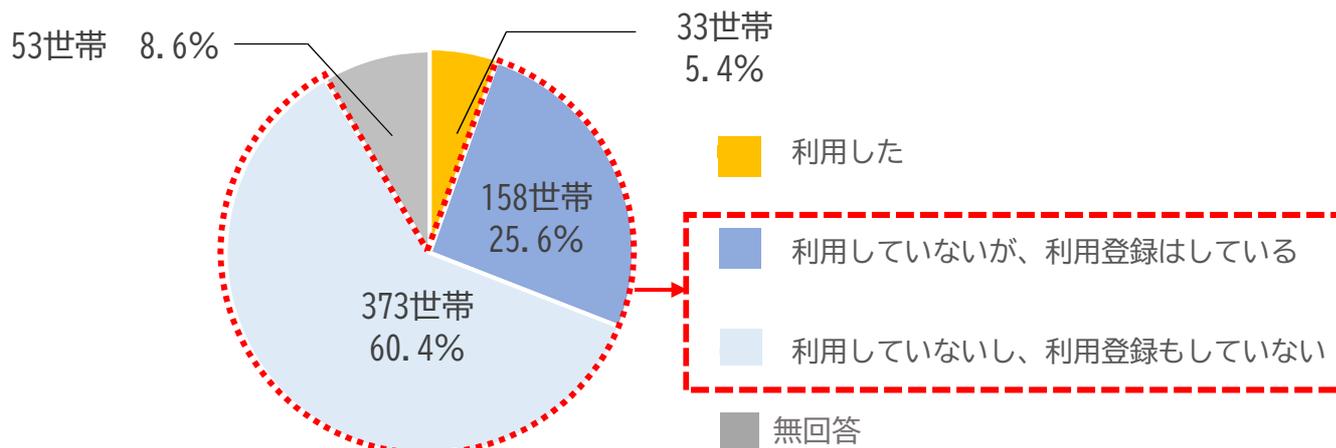
割合はアンケート回収数617世帯から算出

② 乗合タクシーについて

(乗合タクシーの利用)

問1 乗合タクシーを利用したことがありますか。

乗合タクシーを利用した世帯は 33 世帯 5.4%、乗合タクシーを利用していない世帯は「利用していないが利用登録はしている」と「利用していないし、利用登録もしていない」を合わせ 531 世帯 86%であった。

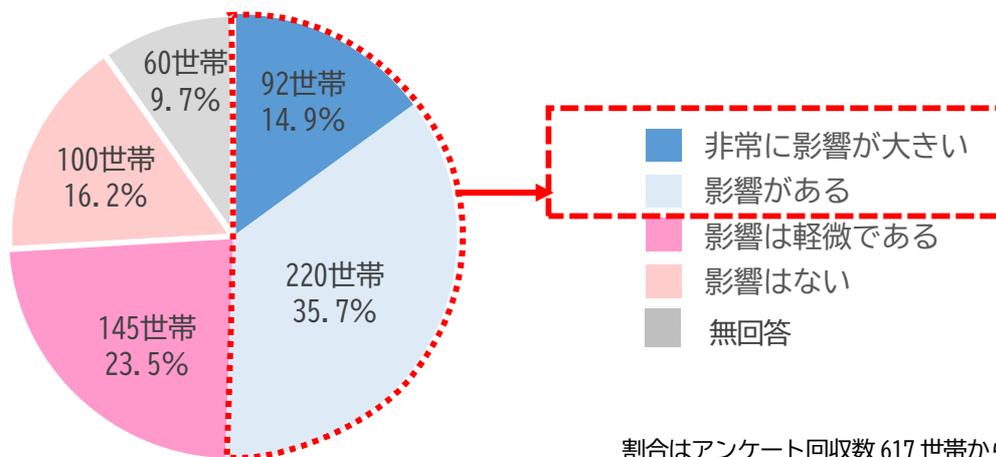


割合はアンケート回収数617世帯から算出

(新型コロナウイルスの蔓延)

問2 新型コロナウイルスの蔓延が、乗合タクシーの試験運行に影響をあたえていると考えますか。

「非常に影響が大きい」と「影響がある」を合わせ 50.6%と約半数の世帯が影響があるとの回答であった。



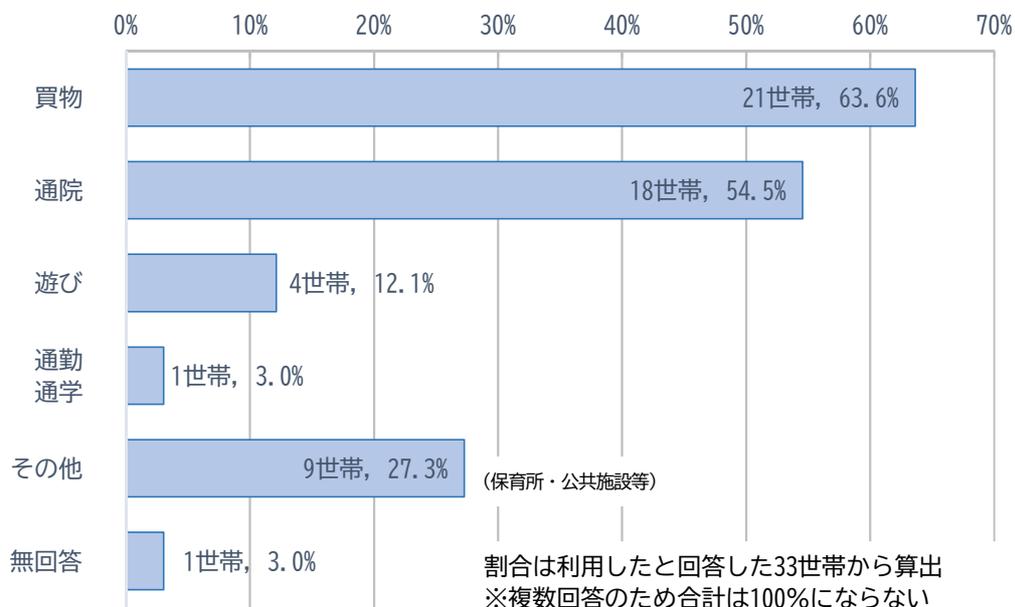
割合はアンケート回収数 617 世帯から算出

(乗合タクシー利用した方への設問)

問3 乗合タクシーを利用したことがある方に伺います。

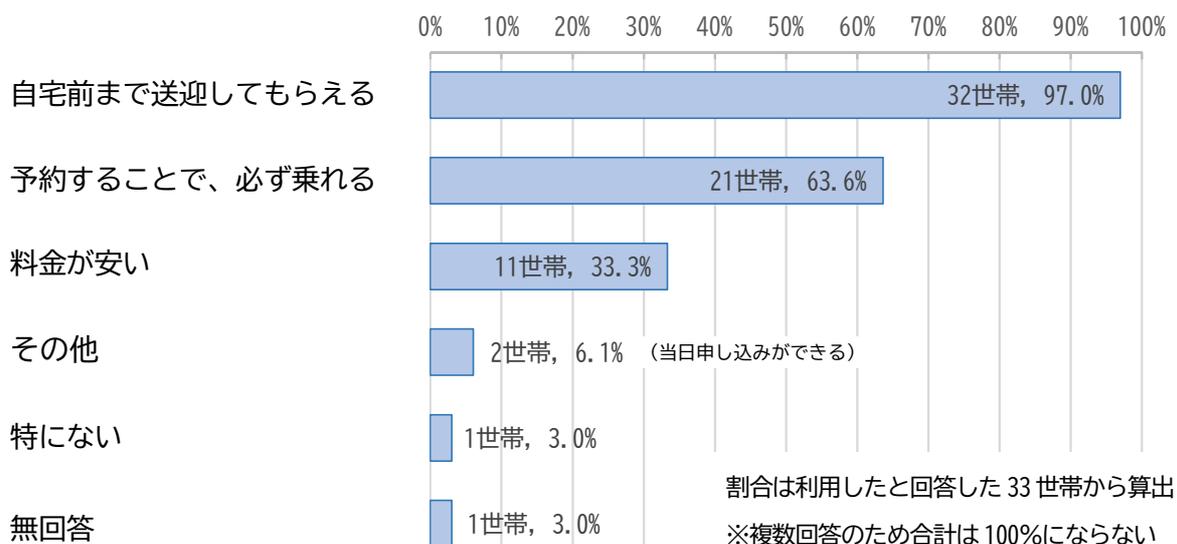
問3-1 どのような目的で、乗合タクシーを利用しましたか。(複数回答可)

主に買い物、通院での利用であった。



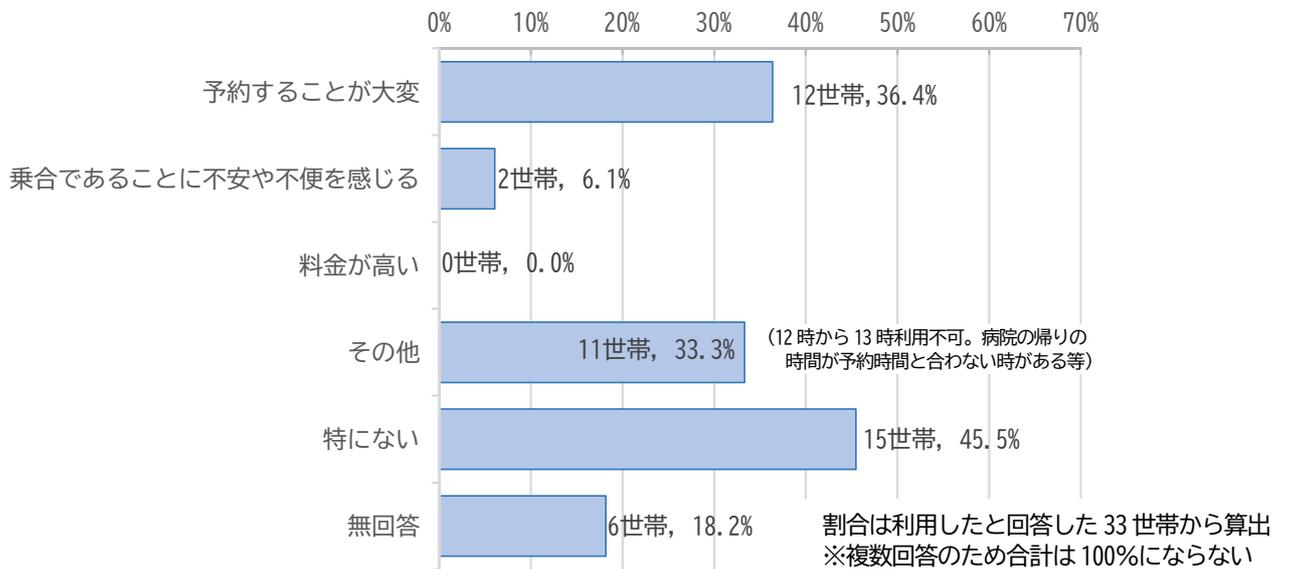
問3-2 乗合タクシーを利用して、どのようなところが良かったと感じましたか。(複数回答可)

良かった点は、自宅前まで送迎してもらえるが最も多く、次に、予約することで必ず乗れる、料金が安い順となった。



問3-3 乗合タクシーを利用して、どのようなところが不満に感じましたか。(複数回答可)

不満に感じた点は、予約することが大変が 36.4%、乗合であることに不安や不便を感じるが 6.1%あった。

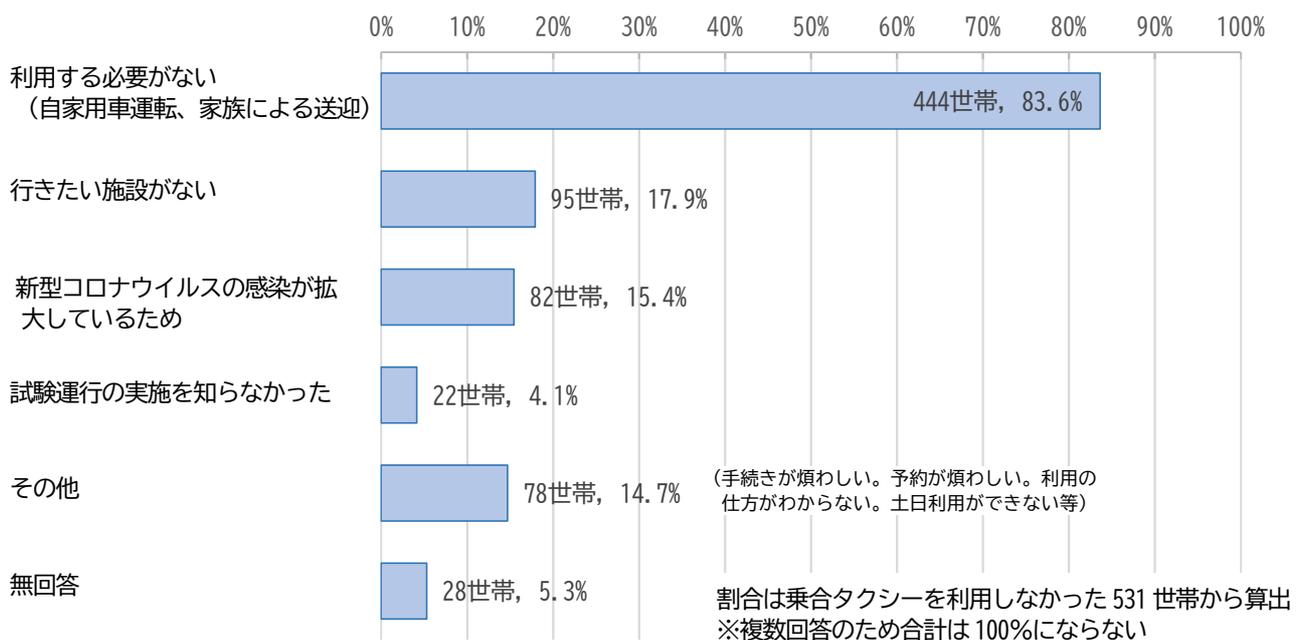


(乗合タクシー利用していない方への設問)

問4 乗合タクシーを利用していない方に伺います。

問4-1 どのような理由で、乗合タクシーを使用しなかったのですか。(複数回答可)

使用しなかった理由は、利用する必要がないが最も多く、次に、行きたい施設がない、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、試験運行の実施を知らなかったの順となった。

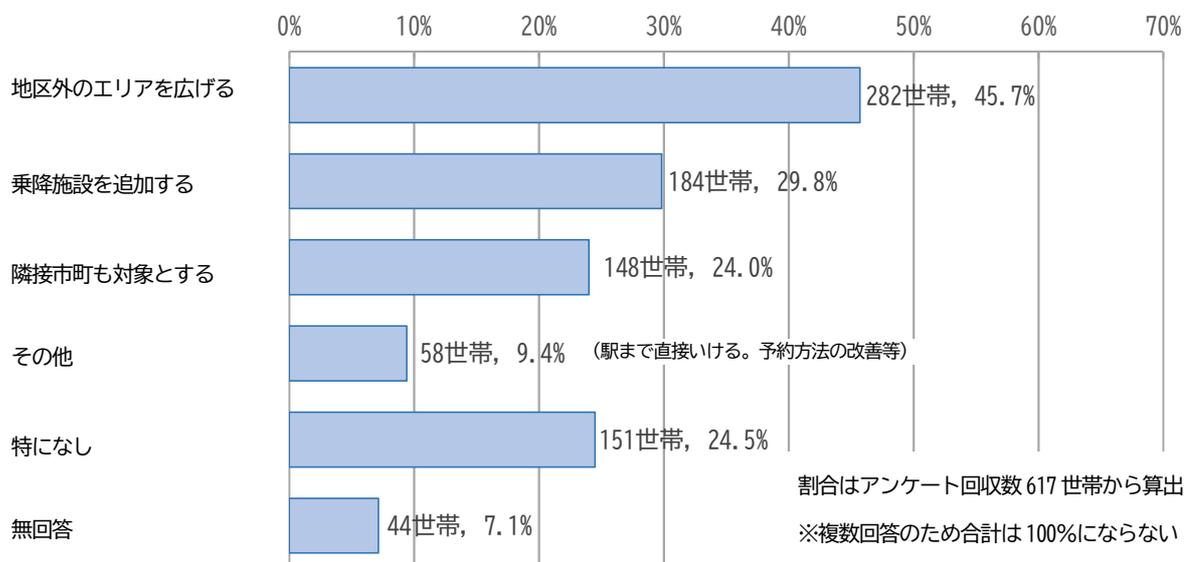


(乗合タクシーの改善)

問5 乗合タクシーを地域の皆様に利用してもらうためには、乗合タクシーをどのように改善する必要がありますか。

問5-1 乗降施設について、どのように改善する必要がありますか。(複数回答可)

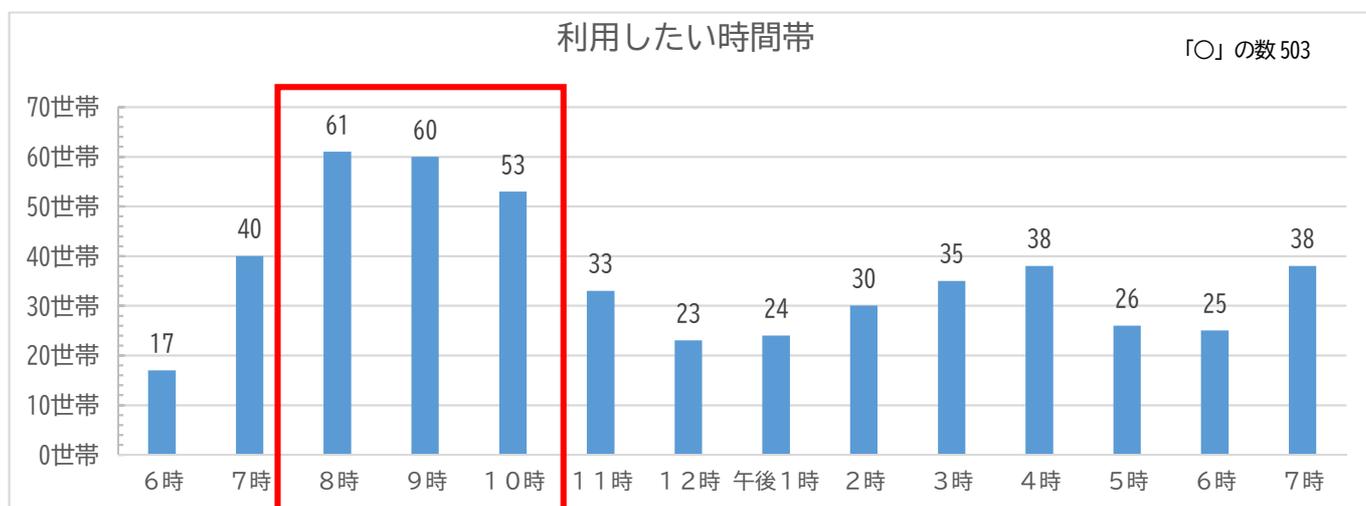
改善点は、地区外のエリアを広げるが最も多く、次に、乗降施設を追加する、隣接市町も対象とするの順となった。



問5-2 利用時間について、どのように改善する必要がありますか。(複数回答可)

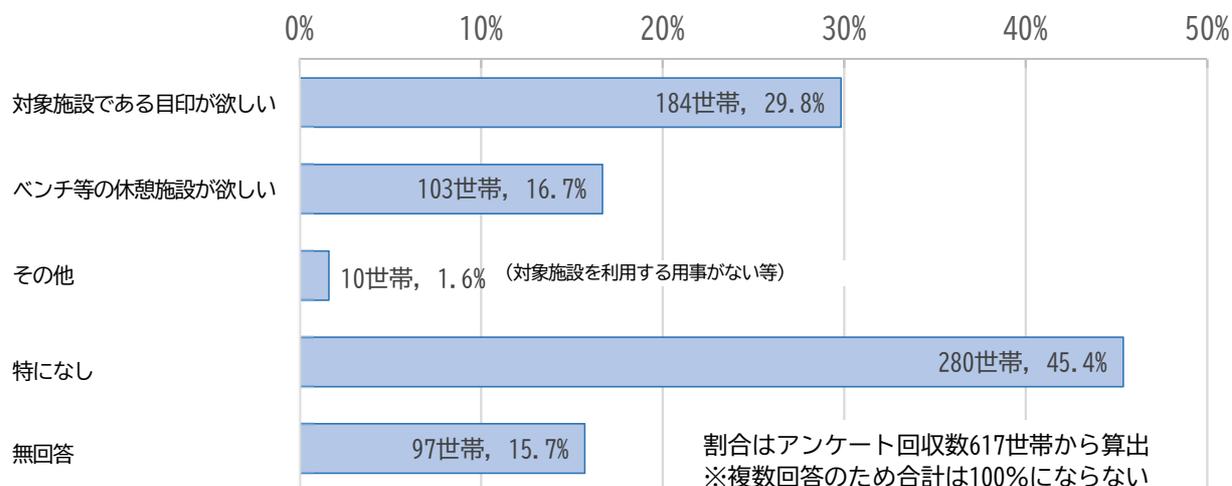
午前8時から午前10時が最も利用したい時間となった。

利用時間を変更する 回答数 155
特になし 回答数 332
その他 回答数 26 (利用時間を長く、土日の利用等)



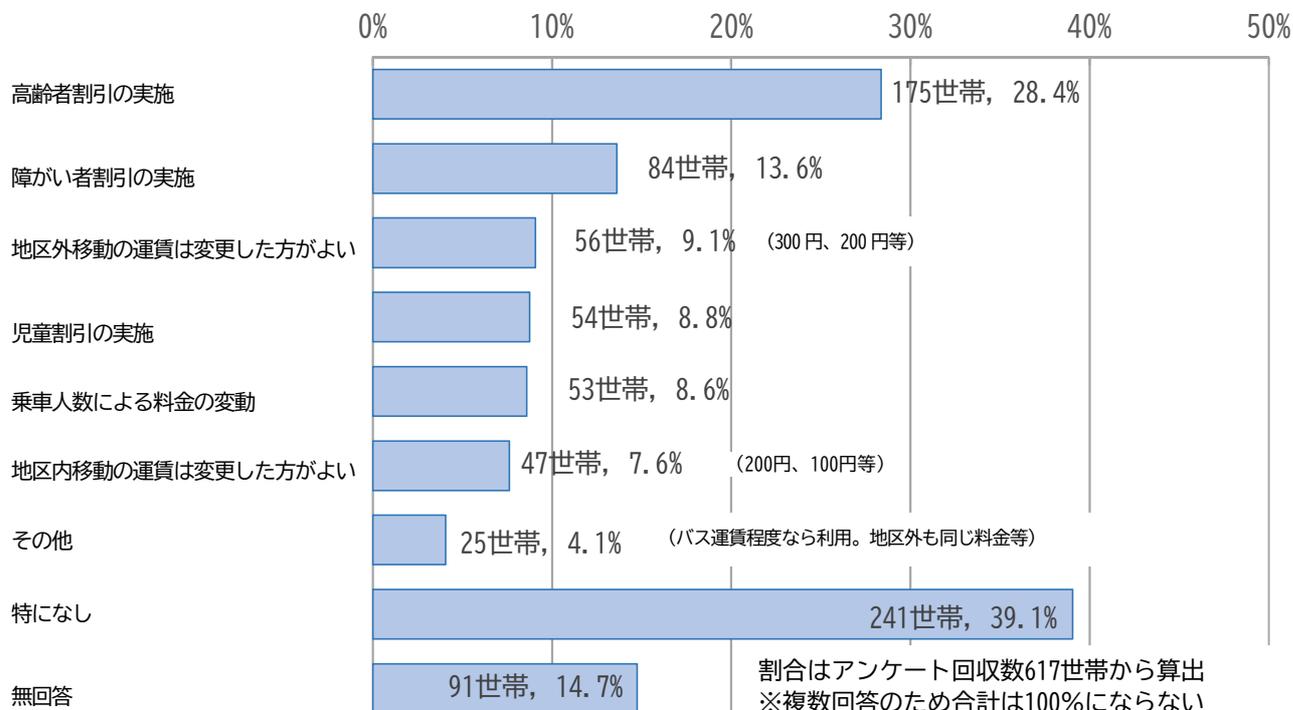
問5-3 附属施設について、どのように改善する必要があると考えますか。(複数回答可)

要望については、対象施設である目印が欲しいが 29.8%、ベンチ等の休憩施設が欲しいが 16.7%の順となった。



問5-4 料金について、どのように改善する必要があると考えますか。(複数回答可)

高齢者割引の実施が 28.4%と最も多く、次に障がい者割引の実施が 13.6%の順となった。



(乗合タクシーの今後の利用)

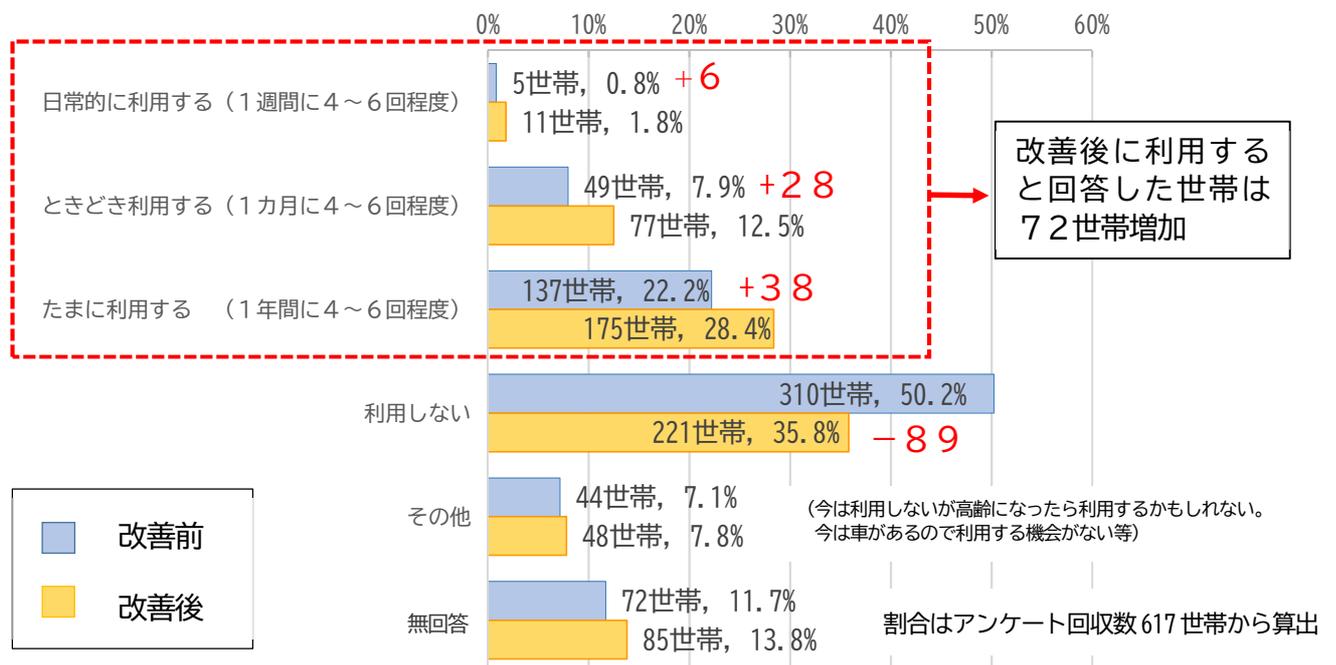
問6 新方地区の新たな公共交通として、今後、乗合タクシーを導入した場合について、伺います。

問6-1 現状の乗合タクシーを、現状のまま導入した場合、どの程度利用しますか。

問6-2 現状の乗合タクシーを、「問4」の内容のとおり改善し、導入した場合、どの程度利用しますか。

改善後に利用すると回答した世帯は改善前と比較し、72世帯 11.8%増加したものの263世帯 42.7%で半数には至らなかった。一方、改善しても利用しないとの回答が221世帯 35.8%であった。

[改善前と改善後の比較]

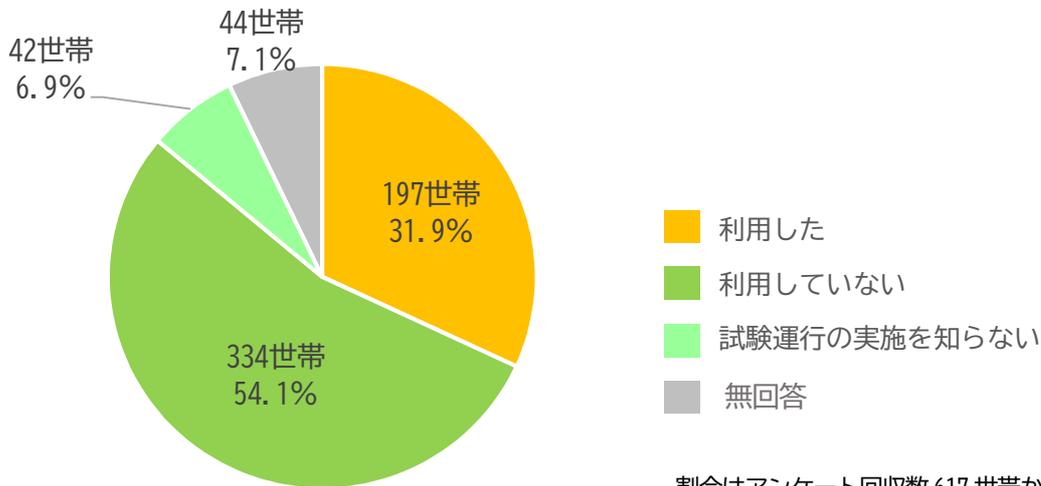


③ ミニバス（コミュバス）について

（ミニバスの利用）

問7 平成26年に実施したミニバスの試験運行について、利用したことがありますか。

利用した世帯は197世帯31.9%であった。一方、利用していない世帯は334世帯54.1%であった。



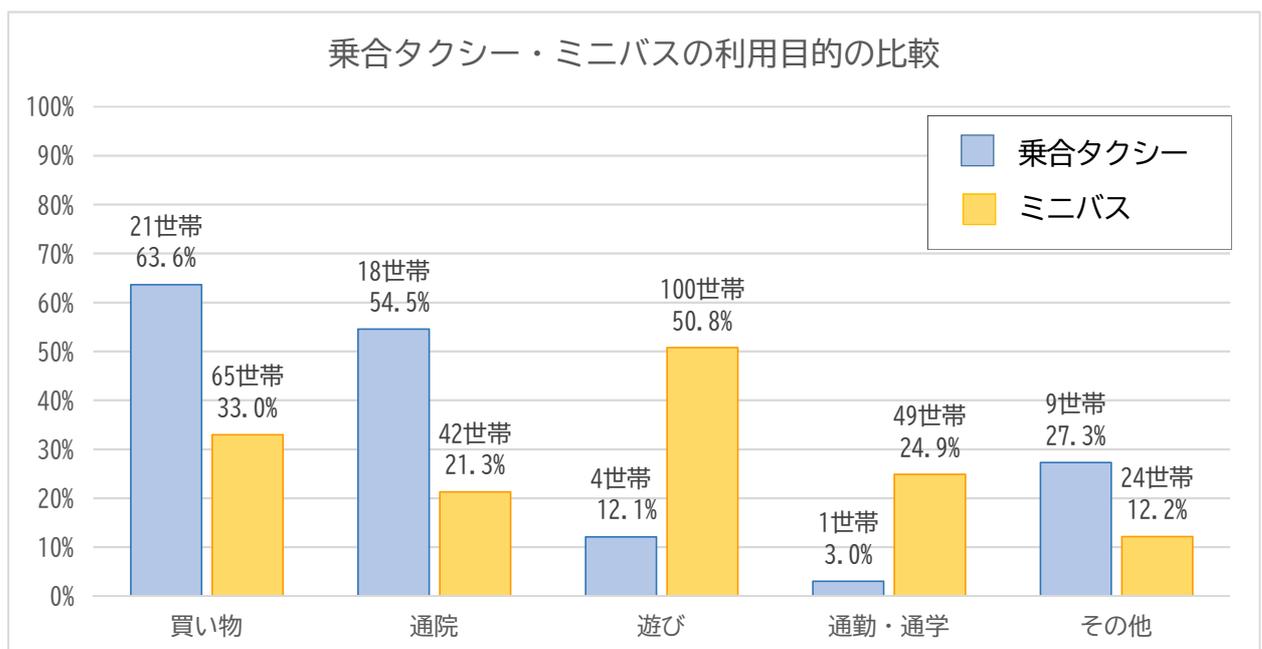
割合はアンケート回収数617世帯から算出

（ミニバスを利用した方への設問）

問8 ミニバスを利用したことがある方に伺います。

問8-1 どのような目的で、ミニバスを利用しましたか。（複数回答可）

乗合タクシーは買い物と通院の利用が多く、ミニバスは遊び、買い物、通勤通学が多い結果であった。

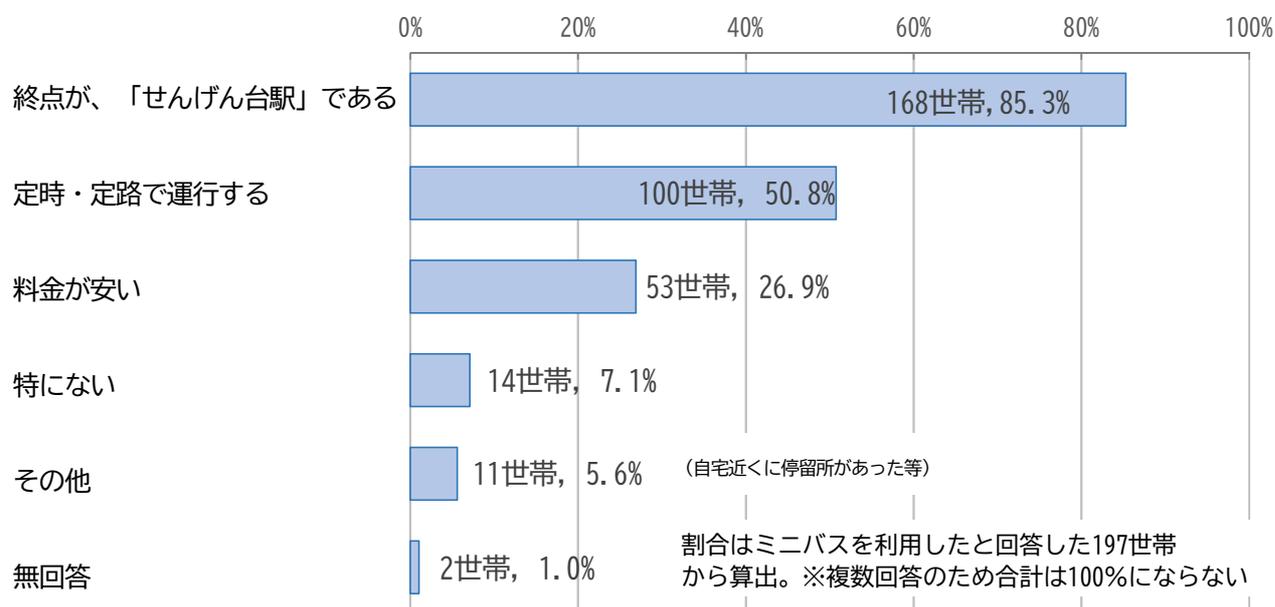


割合はミニバスを利用したと回答した197世帯から算出

※複数回答のため合計は100%にならない

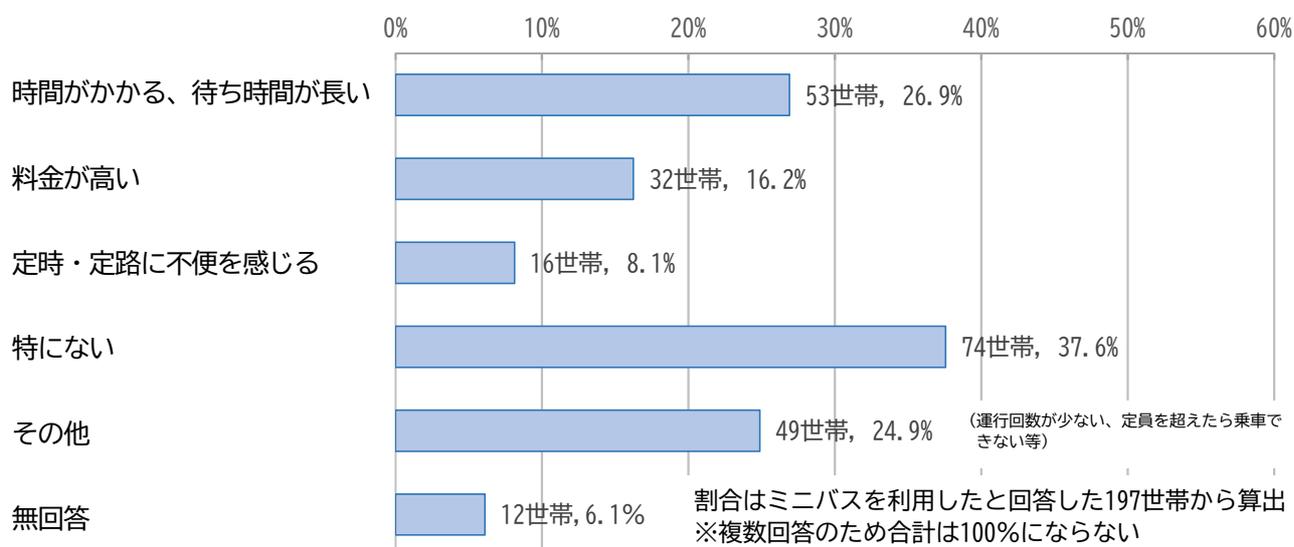
問8-2 ミニバスを利用して、どのようなところが良かったと感じましたか。(複数回答可)

終点が、「せんげん台駅」であるが最も多く、次に、定時・定路で運行する、料金が安い順となった。



問8-3 ミニバスを利用して、どのようなところが不満に感じましたか。(複数回答可)

不満に感じた点は、時間がかかる、待ち時間が長い最も多く、次に、料金が安い、定時・定路に不便を感じるの順となった。

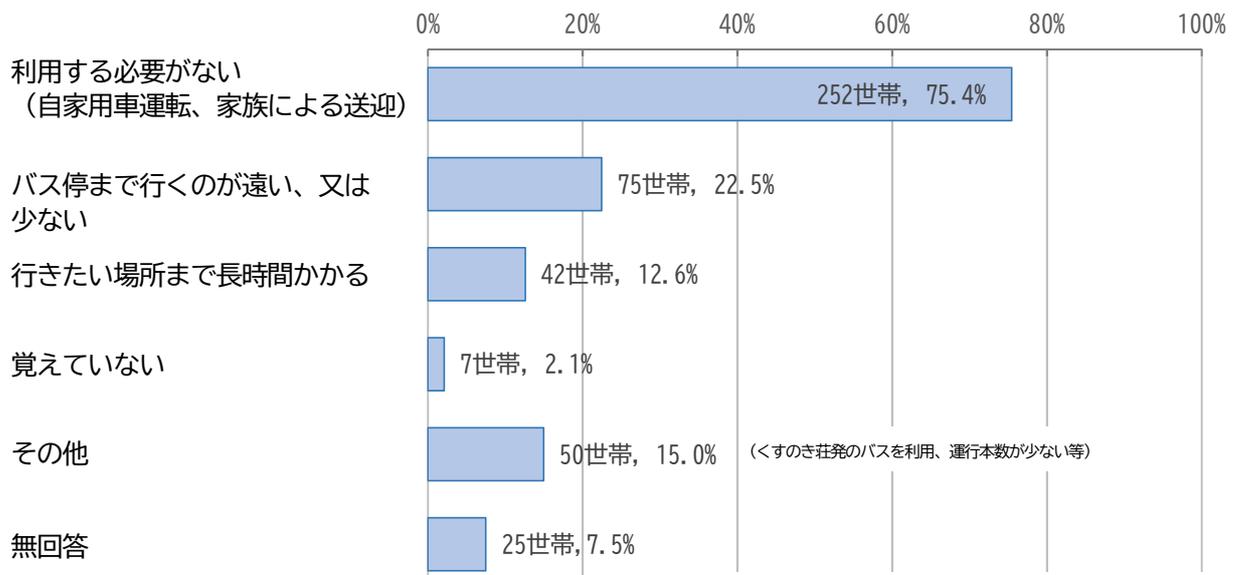


(ミニバスを利用しなかった方への設問)

問9 ミニバスを利用しなかった方に伺います。

問9-1 どのような理由で、ミニバスを使用しなかったのですか。(複数回答可)

利用する必要がないが最も多く、次に、バス停まで行くのが遠い、又は少ない、行きたい場所まで長時間かかるの順となった。



割合はミニバスを利用しなかったと回答した 334 世帯から算出

※複数回答のため合計は100%にならない

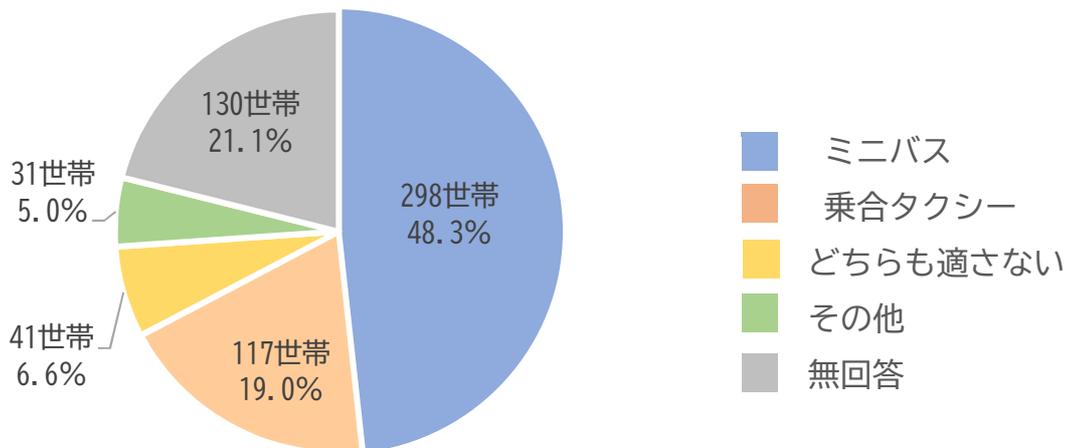
④ 新たな公共交通の導入について

(ミニバスと乗合タクシーの比較)

問10 新方地区に導入する新たな公共交通として、ミニバスと乗合タクシーを比較した場合、下記の設問にお答え下さい。

問10-1 平成26年度に実施したミニバスと現状の乗合タクシーを比較した場合、どちらの方が、新方地区の新たな公共交通としてふさわしいと思いますか。

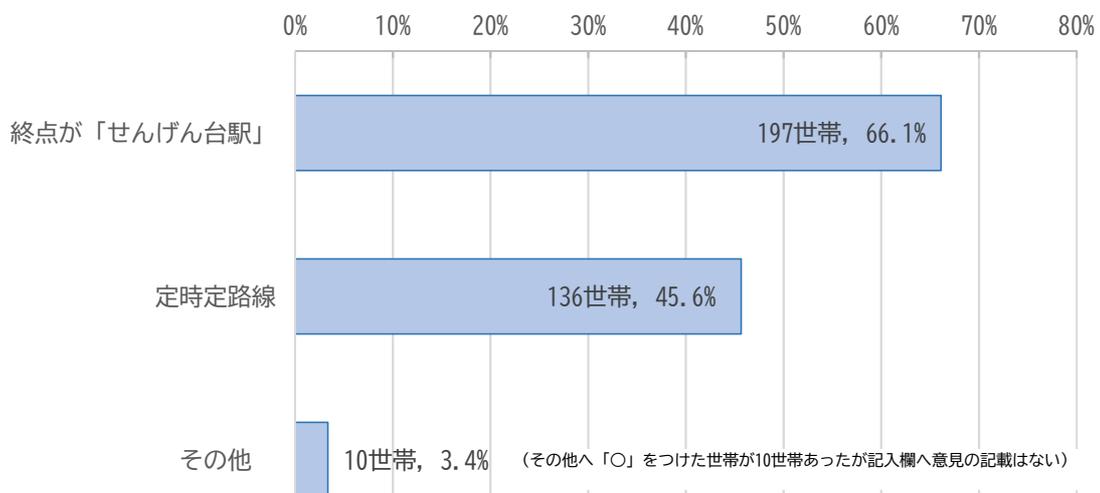
ミニバスが298世帯48.3%、乗合タクシーは117世帯19.0%であった。



割合はアンケート回収数617世帯から算出

A ミニバスを選んだ理由

終点が「せんげん台駅」が66.1%、定時定路線が45.6%であった。

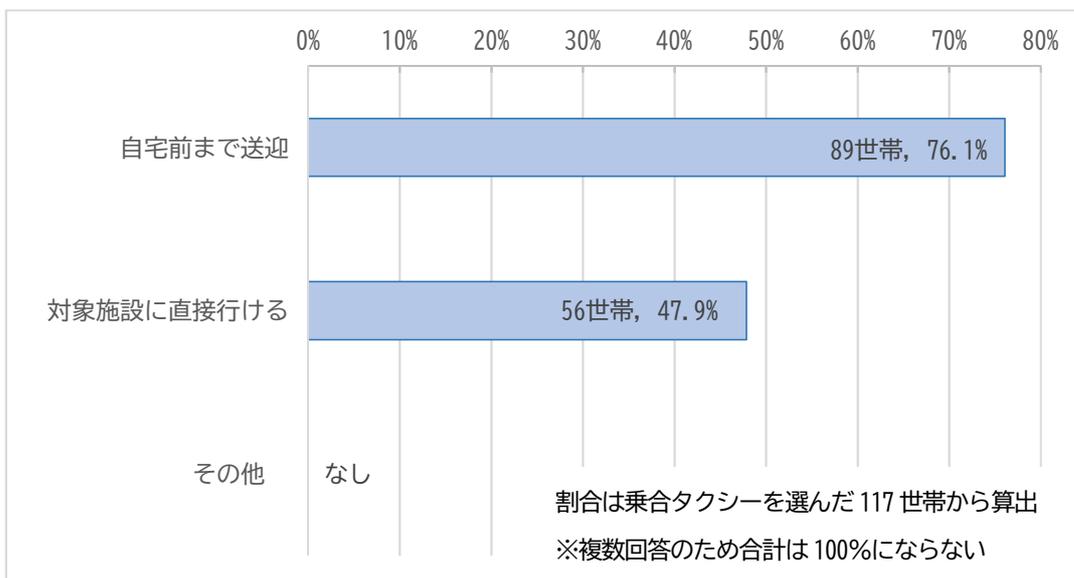


割合はミニバスと回答した298世帯から算出

※複数回答のため合計は100%にならない

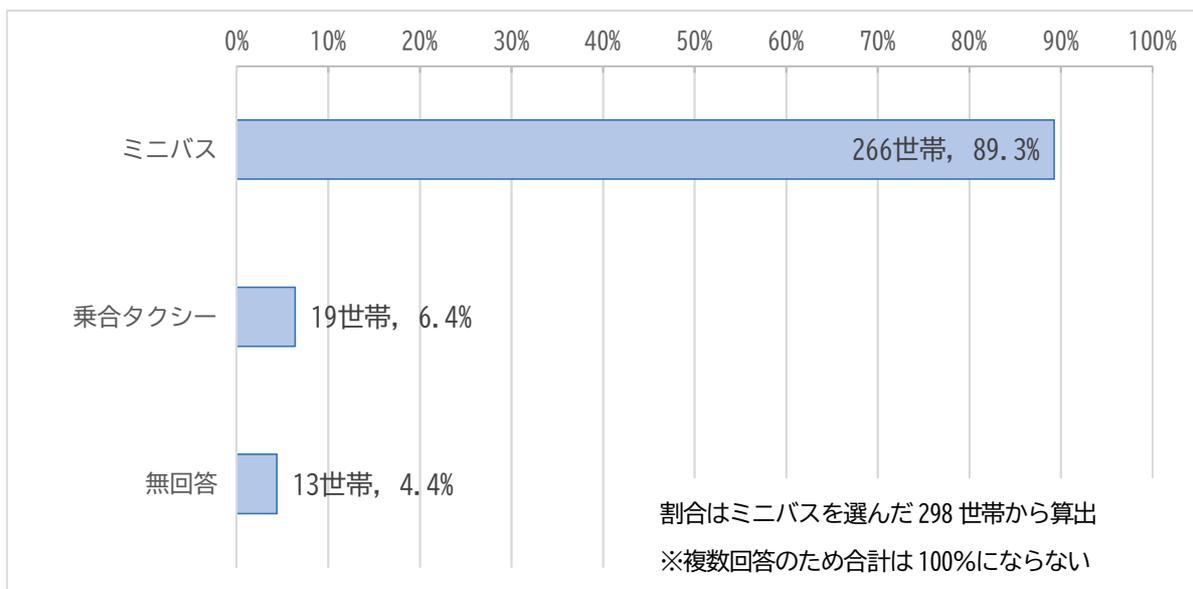
B 乗合タクシーを選んだ理由

自宅前まで送迎が76.1%、対象施設に直接行けるが47.9%であった。



問10-2 問10-1で「A ミニバス」と回答された方にお伺いします。「乗合タクシー」が問4の内容のとおり改善されるならば、どちらの導入がふさわしいと思いますか。

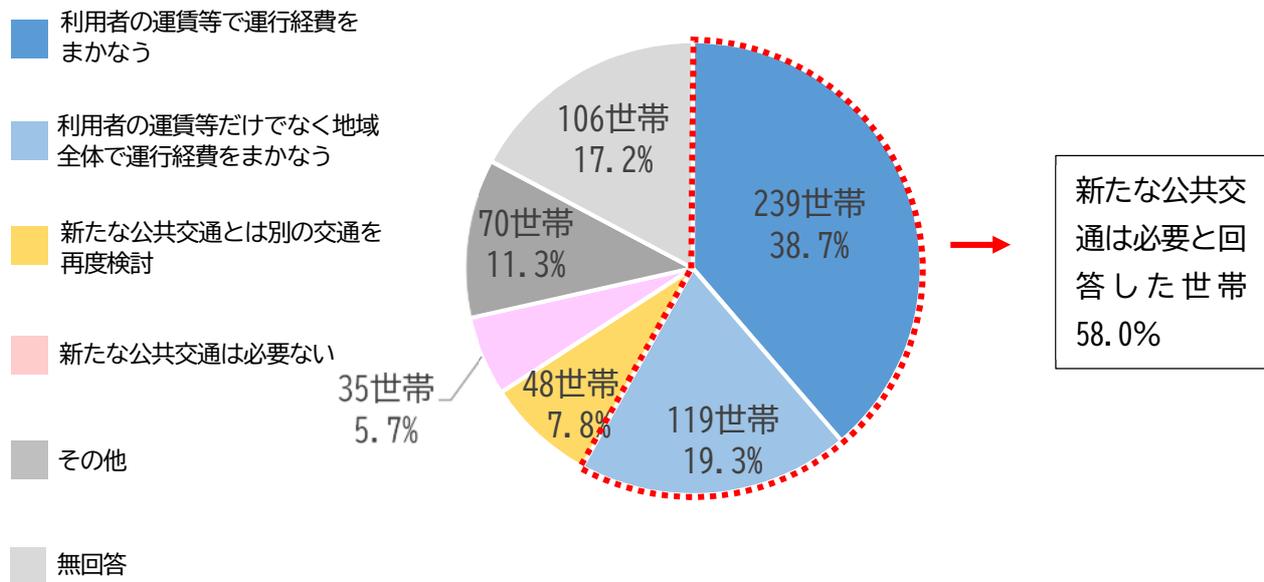
乗合タクシーを改善しても、89.3%の世帯がミニバスの方が良いという回答であった。



(新方地区内への公共交通の今度の導入)

問 11 新方地区内への新たな公共交通（ミニバス・乗合タクシー）の導入について、どのようにお考えですか。

費用は、「利用者の運賃等で運行経費をまかなう」と「利用者の運賃等だけでなく地域全体で運行経費をまかなう」を合わせ 58.0%と半数以上の世帯が新たな公共交通は必要との回答であった。



割合はアンケート回収数 617 世帯から算出

3. 新方地区内公共交通導入検討協議会の結果について

(1) 第12回新方地区内公共交通導入検討協議会（令和3年9月17日）

①新方地区乗合タクシー実証運行等に関するアンケートについて

- ・利用状況の把握や、今後、新方地区に適した新たな公共交通の導入を検討するためのアンケート調査の実施及び、内容について協議し、対象世帯の全戸に配布するアンケート調査を実施することとなった。

②新たな公共交通の導入に向けた、今後の進め方について

- ・現在実施している実証運行の結果と、今後実施するアンケート調査の結果を整理し、運行計画の再検討や、公共交通の導入の必要性を協議していくという意見が多くあった。
- ・今後については、実証運行の結果やアンケートの結果を整理し、新たな公共交通の導入の必要性を含め、協議していくこととなった。

(2) 第13回新方地区内公共交通導入検討協議会（令和3年12月19日）

①実証運行及び、アンケート調査の結果報告について

- ・実証運行及び、アンケート調査の結果について報告を行った。

②今後の検討方針について

- ・地域や住んでいる場所によって、バス停が利用しやすいところもあると思うが、新方地区全体の課題として捉え、地域一丸で取り組んでいく必要があるのとの意見があった。
- ・ミニバス、乗合タクシーそれぞれに一長一短があり、ミニバスは地区の外側を回るため距離が長い、乗合タクシーは予約の仕方が難しい等の課題がある中で、何が地域に適してるのか考える必要があるとの意見があった。
- ・自家用車の所有率が高く、自分での運転や家族の送迎があるため、現状では不便に感じている世帯が少ないのではないかとこの意見があった。
- ・アンケート調査の結果を地域の意見として尊重し、今後検討をしていくことが大切であるとの意見があった。
- ・自家用車から公共交通への利用転換を地域として図っていく必要があるとの意見があった。
- ・将来的に高齢化が進んだ場合には、新たな公共交通が必要になってくると思うとの意見があった。

4. まとめ

(1) 実証運行の結果

- ・延べ利用者数が 525 人に対し、利用世帯は 44 世帯となっており、同じ方による利用であることがわかる。
- ・利用者の 95%が 65 歳以上となっている。
- ・乗降施設のうち「医療機関」と「商業施設」での利用が約 58%を占めている。
- ・収支率は、1.5%となった。

(2) アンケート調査結果

[乗合タクシー]

- ・良かった点としては自宅前まで送迎してもらえるが 97.0%を占めている。
- ・実証運行を利用した世帯は、ミニバスが約 32%に対し、乗合タクシーは約 5%と低いことがわかる。
- ・乗合タクシーを改善しても、約 36%の世帯が利用しないと回答している。
- ・実証運行にコロナの影響があったと 50.6%の世帯が回答している。

[ミニバス (コミュバス) について]

- ・ミニバスを利用して良かった点としてはせんげん台駅まで行けることが 85.3%を占めている。
- ・駅まで直接いけるため、私事の利用が最も多く、次に買い物、通勤通学で利用されている。

[新たな公共交通 (乗合タクシー・ミニバス) の導入について]

- ・新たな公共交通は必要と回答した世帯が 58.0%を占めている。
- ・新方地区に導入する新たな公共交通として乗合タクシーとミニバスを比較した場合、ミニバスがふさわしいと回答した世帯が 48.3%を占めている。

(3) 新方地区内公共交通導入検討協議会の結果

- ・地域の意見としてアンケート調査結果を尊重しつつ、新方地区全体の課題として捉え、地域一丸となって取り組むことが必要である。
- ・以前のミニバス、今回の乗合タクシーの実証運行結果を踏まえると、それぞれ一長一短があることから、どの様な運行形態が新方地区に適しているのか、引き続き検討を行っていく。